

**Rubycon**

## CSRレポート 2020



報告対象期間：2020年1月～12月

報告書発行年月：2021年6月

ルビコン株式会社

ルビコングループ



## 編集方針

本レポートは、ルビコングループの環境および社会への取組みについて、非財務情報の年次報告書として作成しています。

掲載項目は、ルビコングループが重要課題として取り組んでいる項目に関して、活動方針および2020年の実績を具体的事例を中心にまとめたものです。

また、当社ホームページにもCSR活動に関わる情報を掲載していますので、合わせてご覧頂くことができます。

## レポートの報告対象範囲

### 報告対象期間

原則、2020年1月～12月ですが、一部2021年の活動が含まれているところもあります。また、パフォーマンスデータは原則2020年4月～2021年3月としています。

### 報告対象組織

本文中の記載において、「ルビコン」または「当社」はルビコン株式会社を、「ルビコングループ」または「当社グループ」は主にルビコン株式会社および国内関連会社を対象としています。

## 目次

編集方針	1
レポートの報告対象範囲	1
トップメッセージ	2
企業理念（創業の精神）	3
ルビコングループ概要	4
CSR方針および体制	5
消費者の安全と保護	5
公正な事業慣行	8
組織統治	9
CSR調達ガイドライン	11
ルビコンのCSR取組全体図	12
CSR推進体制	12
パフォーマンスデータ	13.14
CSR活動	15
製品安全性の確保	15
製品事故・不具合発生時の対応	15
COC	16
ISO/IATF監査・内部監査	16
お客様満足度の向上	16
グリーン調達	17
使用禁止物質及び危険・有害物質の管理	17
コンプライアンス研修	17
環境に対する取組み	18
脱炭素・環境負荷削減対応	18
人権保護、労働環境	20
人権の尊重	20
人材育成（研修・教育）	20
快適な職場作り	22
子育て・介護支援	22
労働安全衛生	23
業務効率改善	24
労働組合との関わり	25
労使協議会	25
労働組合結成60周年	25
コミュニティへの参画および発展	26
地域社会への貢献	26
社会貢献活動	26
地域への貢献	27
2020年の主な実施項目と 2021年度の目標	28.29

お問い合わせ先

ルビコン株式会社 総務部

Tel : 0265-72-7112

ホームページ : <http://www.rubycon.co.jp/>

### 創業の精神である「伝統と進取」「努力と研鑽」「誠実と信頼」

1952(昭和 27)年 4 月、当社は長野県伊那市にて社員 7 名で事業を開始しました。以来、二度の工場焼失の苦難や度重なる試練を乗り越え、来年 2022(令和 4)年 4 月、当社は創立 70 周年を迎えます。今や会社草創期を知るメンバーはいません。しかしながら、私たちは諸先輩が努力を重ねてきた歴史の重みを忘れてはならないと思っています。

創業者 故登内英夫は、1961(昭和 36)年に社歌を、翌 1962(昭和 37)年に社是：「すべて日本一になりましょう」を制定しました。創立 10 周年を迎えようとしていた当時、社員の更なる結束と志を高め、会社の目指すべき方向性を示そうとした創業者の想いを強く感じます。

社歌の一節に「**伝統と進取**」「**努力と研鑽**」「**誠実と信頼**」という言葉が入れられています。この歌詞については、創業者が晩年まで繰り返し私たちにその想いを説いてくれました。

#### 「伝統と進取」

先輩たちの弛まぬ努力があったからこそ、今の私たちはある。後世に良き「伝統」を継承していくには、社員全員が前向きに物事を考え、取り組んでいく「進取」の精神が必要である。

#### 「努力と研鑽」

日々「努力」し、お互いに「研鑽」に励むこと、現状に満足することなく、常に改善を心掛けて取り組むことこそ大事なことである。

#### 「誠実と信頼」

お客様、お取引先様をはじめ、株主様、グループ各社や営業拠点を展開している地域社会の皆様  
に「誠実」に接してこそ、そこから「信頼」が生まれてくるものである。信頼される会社、信頼される人間こそ、我々が目指すべき姿である。

当社の“創業の精神”ともいえるこれらの意味が込められた社歌を、これからも大切に歌っていき  
たいと思います。

環境変化の激しい時代です。私たちはコンプライアンス、環境に対する取組み、働き方改革や労働安全衛生に対する社員の意識向上、コミュニティへの参画、次世代育成支援、人権・労働慣行等の CSR(企業の社会的責任)活動も今まで以上に推進していきます。

そして私たちは、お客様により喜んでいただける商品開発・品質管理を進め、また、地域社会の皆様からいつでも声をかけていただけるよう、社会貢献に努めて参ります。

今後ともルビコングループへのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

代表取締役社長 赤羽 宏明

ルビコン社是

すべて日本一になりましょう

ルビコン五訓

- 一、 日常の生活において誠実を貫きましょう
- 一、 正しく働き正しく生きましょう
- 一、 すべてに愛情を持ちましょう
- 一、 今日を反省し遺憾のなかったことに感謝しましょう
- 一、 自己を信じ希望に生きましょう

ルビコン社歌

監修 創立者 登内 英夫  
作詞 木下 仙  
作曲 西村 好弘  
編曲 坂下 滉

一、 信濃に山は 多けれど

東仙丈 西に駒

千古に香る 処女雪の

伝統と進取 おおルビコン

ともに励まん 手をとりにて

二、 南に遠く 行く水は

天の中川 悠久に

岩を削りて たゆみなし

努力と研鑽 おおルビコン

ともに究めん 手をとりにて

三、 地には万朶の 花匂い

空に北斗の 光澄む

故郷伊那の 名に誓う

誠実と信頼 おおルビコン

ともに進まん 手をとりにて

## ルビコングループ概要

商号	ルビコン株式会社
設立	1952年4月28日
本社	長野県伊那市西箕輪 1938-1 TEL:0265-72-7111 FAX:0265-73-2914
代表取締役社長	赤羽 宏明
資本金	3億9600万円
従業員数	628名（グループ総従業員数 2,714名）
売上高	2020年9月期 442.7億円（連結）
主な事業活動	各種コンデンサおよびスイッチング電源の開発、設計、製造および販売
ブランド	ルビコン、RUBYCON
製品提供地域	グローバル
参入市場	産業機器、再生可能エネルギー、自動車、電源、コンピュータ、照明、通信機器等
お客様の主な業種	電気・電子機器製造業者、EMS(委託製造業者)、ディストリビュータ、商社等

### 国内生産拠点



### 海外生産拠点



### 国内営業拠点



### 海外営業拠点





消費者の安全と保護

製品での社会貢献

「<<エレクトロニクス技術を通じて社会のDX推進に貢献するルビコン製品>>

今や、身の回りの様々な機器がIT化/電子化され、電子機器は世の中に欠かせない物となっています。

そのエレクトロニクス分野では、コンデンサも欠かせないアイテムであり、ルビコンは、主要生産品であるコンデンサを様々な電子機器に提案/供給し、エレクトロニクス技術を通じて、社会のデジタルトランスフォーメーション推進に貢献しています。

「<< 導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ >>

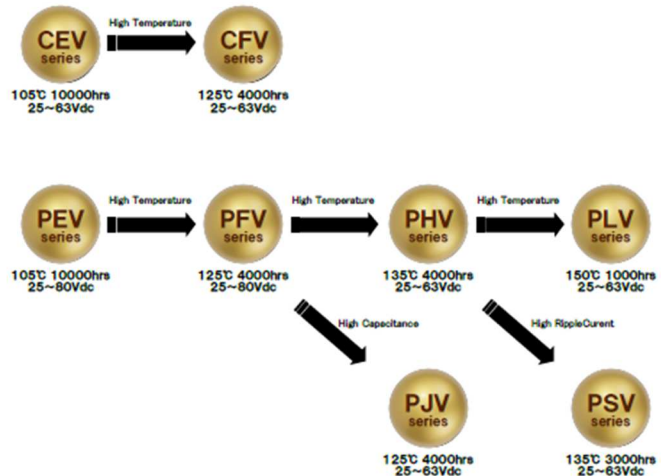
アルミ電解コンデンサの中で導電性高分子アルミ固体電解コンデンサは、他のコンデンサに比べて使用温度範囲が広く小形で低ESR、高リップル電流という高性能化の特徴を持っています。この技術を使うことにより高効率の電源設計が可能となり、従来のコンデンサでは実現出来なかった員数削減が可能になります。

これは高効率というだけでなく、小形化・員数削減による省資源化や脱炭素にも貢献することが出来ます。



**PZ-CAP**  
導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ (ハイブリッドタイプ)  
CONDUCTIVE POLYMER ALUMINUM SOLID ELECTROLYTIC CAPACITORS (HYBRID TYPE)



ハイブリッドタイプ シリーズラインナップ Hybrid Type Series Line-up



一般の電解液タイプの電解コンデンサとの比較 Comparison with electrolyte

Electrolyte type / 125°C TGV series	Hybrid type / 125°C PJV series
 <p>25v220uF Φ8x10.5L Volume: 2.64cm<sup>3</sup> Ripple:350mArms X 5 Total : 1750mArms</p>	 <p>25v270uF Φ8x10.5L Volume: <b>0.53cm<sup>3</sup></b> ESR:25mΩ Ripple:1920mArms</p>

It is possible to obtain cost & space saving with the same ripple current

<< 高性能導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ採用による員数削減例 >>



<< 薄膜高分子積層コンデンサ PMLCAP >>

当社独自の技術で開発された PMLCAP は、極めて理想に近い特性を実現し、電子機器の高性能化に貢献しています。

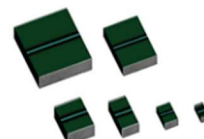
PMLCAP は、電極及び誘電体を真空蒸着で形成する画期的な技術の採用により、従来のフィルムコンデンサと比較して大幅な小型化を実現した面実装型フィルムコンデンサです。

優れた周波数特性、温度特性を有し、高誘電率系の積層セラミックコンデンサと比較して、「バイアス特性」「うなり音特性」「高調波歪み率」等が優れています。

その特性を見いだされ火星探査/地震計にも採用され、2018 年 11 月に火星の赤道に近い平原に着陸し、火星の地質活動や内部の様子を探るための超高感度の地震計のセンシングキーパーツとして貢献しています。

# PMLCAP

薄膜高分子積層コンデンサ  
Polymer Multi-Layer Capacitor

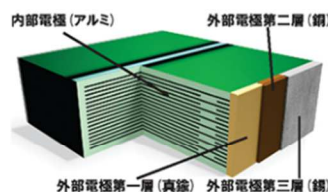


特徴 Features

構造 Structure



- オーディオ用途に最適  
Best suited for audio equipment
- 保証温度範囲 -55~+125°C  
Temperature Range -55~+125°C



項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	16~200Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-55~+125°C
静電容量 Capacitance	0.0001~22μF	製品寸法 Size	1608~5750

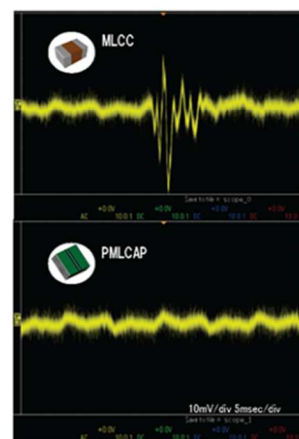
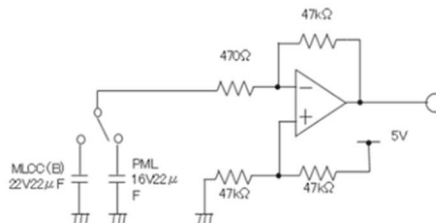


各種のオーディオ機器に最適。  
完全ワイヤレスイヤホンにも採用。  
Best suited for audio equipment  
Inside true wireless earbuds

● 振動によるノイズの発生

100倍に信号を増幅するアンプで、コンデンサ実装基板を叩いて PMLCAPとMLCCの発生ノイズ差異を測定  
Measure the noise difference between PML CAP and MLCC by amplifying the signal by 100 times by tapping the capacitor mounting board.

測定回路 Circuit of Measurement



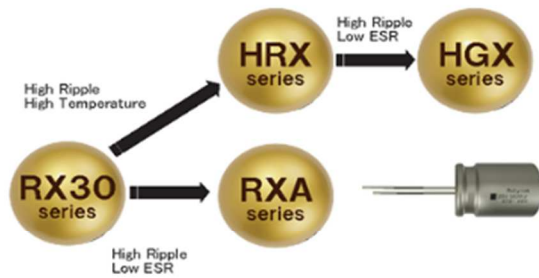
## 《 車載用アルミ電解コンデンサ 》

C (Connectivity) A (Autonomous) S (Shared & Service) E (Electric)化で車載への電子部品搭載数は年々増加しています。

車両の電子部品コスト比率は、1980年代は約3%でしたが、近年では約40%にまで増加し、脱炭素化に伴うEV、FCVへの置き換えにより更に増加が見込まれます。

ルビコンでは、導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ(PZ-CAP)と共に従来のアルミ電解コンデンサも車載用途品の開発を進めています。

### 低圧リード線形 LEAD WIRE type for Low Voltage



#### 特徴 Features

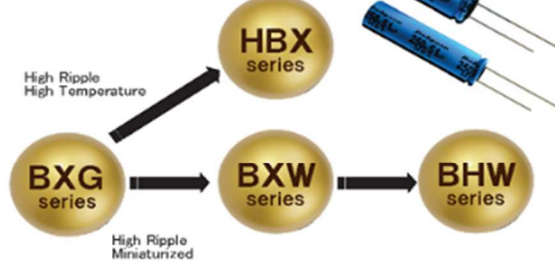
- 小形大容量、高リップル、低ESR品  
Miniaturized, High capacitance, High ripple current
- 低圧インバータ等のDCリンクに最適  
Suitable for DC link of low voltage

HGX series RXA series

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	25~70Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-40~+135°C(150°C)
静電容量 Capacitance	1200~6800 μF	製品寸法 Size	φ12.5x20~φ18x30L

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	25~70Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-40~+125°C(150°C)
静電容量 Capacitance	51~5600 μF	製品寸法 Size	φ10x13~φ18x30L

### 高圧リード線形 LEAD WIRE type for High Voltage



#### 特徴 Features

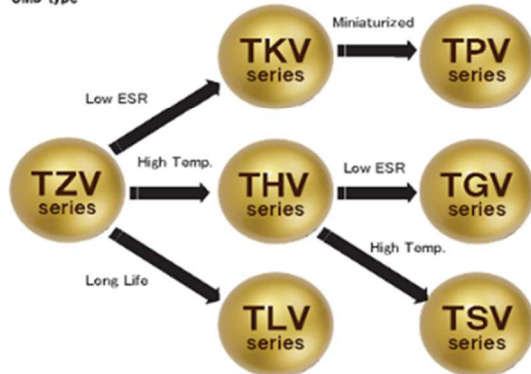
- 小形大容量、高リップル、低ESR品  
Miniaturized, High capacitance, High ripple current
- 高圧インバータ等のDCリンクおよびPFC回路に最適  
Suitable for DC link of high voltage inverter and PFC circuit

HBX series BHW series

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	250~290Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-40~+125°C(135°C)
静電容量 Capacitance	30~56 μF	製品寸法 Size	φ10x30~φ16x20L

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	400~450Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-40~+105°C
静電容量 Capacitance	47~220 μF	製品寸法 Size	φ16x20~φ18x50L

### 表面実装形 SMD type



#### 特徴 Features

- 小形大容量と高温対応品  
Miniaturized, High capacitance, High Temperature

TSV series TPV series

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	6.3~50Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-55~+105°C
静電容量 Capacitance	47~2200 μF	製品寸法 Size	φ6.3x6.1~φ10x15L

項目 Items	特性 Characteristics	項目 Items	特性 Characteristics
定格電圧 Rated Voltage	25~35Vdc	カテゴリ温度 Temperature	-40~+150°C
静電容量 Capacitance	47~2400 μF	製品寸法 Size	φ8x10.5~φ18x21.5L



## 公正な事業慣行

当社は、関係法令、社内規程、社会規範、倫理などの遵守を徹底し、反社会的勢力との関係を排除し、公正で誠実な競争による事業活動を推進するとともに、生活者の視点と立場を考慮してお客様の安全と安心の確保に努めています。

### コンプライアンス

事業に関わるすべての法令（労働、環境、厚生、貿易、工業、商業、税法、民事等）を遵守し、公正な事業及び取引を徹底しています。

本社の社内規程をベースにして、グループ会社への展開と相互改善を推進します。

旧 EICC(電子業界 CSR アライアンス:Electronic Industry Citizenship Coalition)の行動規範に準拠するルビコングループ行動規範の方針を公表し、全社員及びグループ会社に徹底しています。

コンプライアンス違反が発生した場合は、正確な事実関係と真因の究明に努め、厳正に対処し、再発防止の徹底を図ります。

### 内部通報制度

法令違反やコンプライアンス違反の早期発見や未然防止を主な目的として、内部通報制度を導入しています。社内の組織内外に関係なく、多くの社員から広く申告を受け、調査・対応する為の制度です。

グループ会社を含む全社に、当制度のポスターを掲示する事で当制度を社員へ明示し、投書箱の設置や内部通報専用のメールアカウントを作成し、申告しやすい環境を整えています。

### 内部監査

社長直轄の監査部門を設置し、社内組織の活動が法令や運営方針、社内規程に則って、適正かつ効率良く実施されているかを監査し、組織活動の遵法リスクや業務の改善及び是正の助言をします。内部監査は、グループ会社の全組織を対象に実施します。

### リスクマネジメント

2012年から継続しているリスク低減活動に加えて、お客様から行動規範や倫理面におけるリスク評価の問い合わせが増加しており、社内体制の強化及び関連する社内規程の見直しを推進しています。

また、災害や不測の事態に備えた BCP（事業継続計画）の見直しと合わせて、災害対策規程の有効性評価を行います。

### 知的財産の保護（模倣品対策）

事業活動の健全な発展に資するよう特許権や商標権の取得など適切な知的財産の形成を推し進めています。また、模倣品撲滅活動などを通じてブランド価値を高めるとともにお客様の利益の保護に取り組んでいます。さらに、自社の知的財産と同様に他社の知的財産を尊重し、抵触することのないよう努めています。

## 情報の保護・管理

企業の運営に必要な重要情報が誤った使い方をされた場合、お客様及びお取引先様との信頼関係や企業の運営などに重大な影響を及ぼします。当社ではセキュリティポリシー、プライバシーポリシーの策定を行い情報資産の重要性を認識し、リスクマネジメントやBCPにおいても最重要項目として位置付け、社員への教育や各種セキュリティ対策・活動を実施して情報資産の保護・管理を行なっています。

## 個人情報の保護

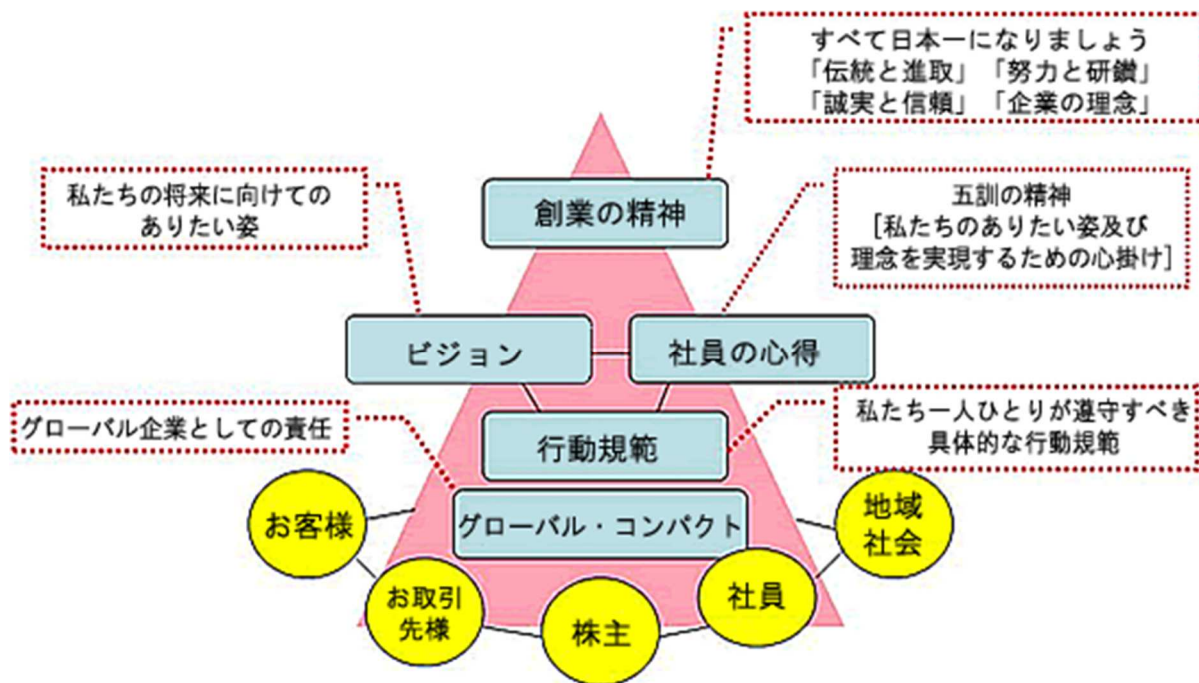
当社は、高度情報化社会における個人情報の保護を喫緊の課題と認識し、これまでに日本の個人情報保護法令に準拠すべく管理体制を整備して参りました。そうした中で2018年5月に施行された欧州一般情報保護規則（GDPR）は欧州域内に所在する個人情報の域外移転に対して厳しい規則を課しています。当社では、GDPRの要求に対応した諸施策を講じるとともに、これを機に管理体制のもう一段のレベルアップを目指して全般的な見直しを行いました。

## 組織統治

### CSR についての考え方

ルビコンの社会的責任を実現する為のCSR体系図を示します。創業の精神（理念）を基にビジョン、社員の心得、行動規範、グローバル・コンパクトという意思決定の仕組みとなっています。

これらは全てルビコンを取り巻くステークホルダー（お客様、お取引先様、株主、社員、地域社会）の皆様に対し、信頼される企業であり続けるためのもので、着実にCSR活動を推進致します。



## ルビコングループ行動規範

ルビコングループ行動規範は、安全な労働環境の下、従事する者に対する処遇を満たす為に、その業務が法令を遵守するだけでなく環境責任と企業倫理に則り遂行される事を目的として定めたもので、旧 EICC 行動規範に準拠しています。

### << 人権・労働 >>

1. 雇用の自主性
2. ハラスメント行為、非人道的な扱いの禁止
3. 児童労働の禁止
4. 差別の禁止
5. 適切な賃金
6. 労働時間
7. 従業員の団結権

### << 安全衛生 >>

1. 機械装置の安全対策
2. 職場の安全
3. 職場の衛生
4. 労働災害・労働疾病の排除
5. 緊急時の対応
6. 身体的負担のかかる作業への配慮
7. 施設の安全衛生
8. 従業員の健康管理

### << 環境 >>

1. 製品に含有する化学物質の管理
2. 製造工程で用いる化学物質の管理
3. 環境マネジメントシステム
4. 環境への影響の最小化  
(排水・汚泥・排気など)
5. 環境許可証／行政認可
6. 資源・エネルギーの有効活用 (3R)
7. 温室効果ガスの排出量削減
8. 産業廃棄物削減
9. 環境保全への取組み状況の開示
10. 生物多様性の保護

### << 公正取引・倫理 >>

1. 汚職・賄賂などの禁止
2. 優越的地位の濫用の禁止
3. 不適切な利益供与および受領の禁止
4. 競争制限的行為の禁止
5. 正確な製品・サービス情報の提供
6. 知的財産の尊重
7. 適切な輸出管理
8. 情報公開
9. 不正行為の予防・早期発見
10. 報復の禁止
11. 責任ある鉱物調達

### << 品質・安全性 >>

1. 製品安全性の確保
2. 品質マネジメントシステム

### << 情報セキュリティ >>

1. コンピュータ・ネットワーク脅威に対する防御
2. 個人情報の漏洩防止
3. 顧客・第三者の機密情報の漏洩防止

### << 社会貢献 >>

1. 社会・地域への貢献

## 国連グローバル・コンパクトへの参加

当社は、国連の提唱する人権、労働、環境および腐敗防止に関する普遍的原則である「国連グローバルコンパクト」への参加を表明し、2011年10月7日付けで正式加盟致しました。当社は、グローバル・コンパクトの10原則を支持し、事業活動を通じて社会貢献致します。

### グローバル・コンパクトの10原則

#### << 人権 >>

- 原則 1 : 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重する。
- 原則 2 : 自らが人権侵害に加担しないよう確保する。

#### << 労働 >>

- 原則 3 : 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持する。
- 原則 4 : あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持する。
- 原則 5 : 児童労働の実効的な廃止を支持する。
- 原則 6 : 雇用と職業における差別の撤廃を支持する。

#### << 環境 >>

- 原則 7 : 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持する。
- 原則 8 : 環境に関する大きな責任を率先して引き受ける。
- 原則 9 : 環境に優しい技術の開発と普及を奨励する。

#### << 腐敗防止 >>

- 原則 10 : 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組む。

## CSR 調達ガイドライン

ルビコングループでは、事業継続性と持続可能な価値創造を見据えて、サプライチェーンマネジメントの強化を図っています。

当社は、経営理念に基づく「ルビコングループ調達方針」を定め、当社ホームページを通じて調達における基本姿勢を社内外に示すとともに、法令・社会規範遵守の強化に取り組んでいます。この調達方針の趣旨に基づき、人権尊重や反社会的勢力排除などの法令・社会規範の遵守、汚職・賄賂などの禁止、公平・公正な取引の推進、環境への配慮などを盛り込んだ「サプライヤーさまへのお願い」を定めました。この2つの指針を調達活動の両輪として、サプライヤーさまとの公平、公正かつ透明な取引に基づく良好な関係の構築と関係強化に取り組んでいます。

### ルビコングループ調達方針

#### << 法令・社会規範の遵守 >>

当社は、法令・社会規範（児童労働・強制労働の禁止などの人権尊重、腐敗の防止をはじめとする世界各国の法律・基準・条約など）を遵守し、健全で公正な企業活動を行います。ルビコン製品の生産に必要な資材・役務等のサプライヤーさまにも、法令や社会規範の遵守を要請します。

#### << グリーン調達および環境への配慮 >>

当社は、ルビコン環境方針に沿ってグリーン調達基準を定め、環境に配慮した資材調達活動を行うとともに、持続的発展が可能な人間社会と健全な環境の実現を図ります。

#### << 公平かつ公正な取引の推進 >>

当社は、内外のサプライヤー（候補）さまに対し広く門戸を開き、定められた方針や手順に従って公平かつ公正な取引を行います。



### << サプライヤーさまの選定方針 >>

当社は、サプライヤーさま選定にあたり、法令や社会規範を遵守した経営、環境への配慮、品質や安全性の確保と安定供給、安定した経営基盤、優れた技術力、適正な情報保護、他社の知的財産の尊重、指定納期の遵守、適正な価格等を総合的に判断して選定します。

### << サプライヤーさまとのパートナー関係強化 >>

当社は、サプライヤーさまとの相互理解に基づく信頼関係を構築し、これを維持することに努めます。

### << 私的利益受領の禁止 >>

当社では、社員がサプライヤーさまから不適切な個人的利益供与（接待、贈答を含む。）を受けることを一切禁止します。

## ルビコンのCSR取組全体図



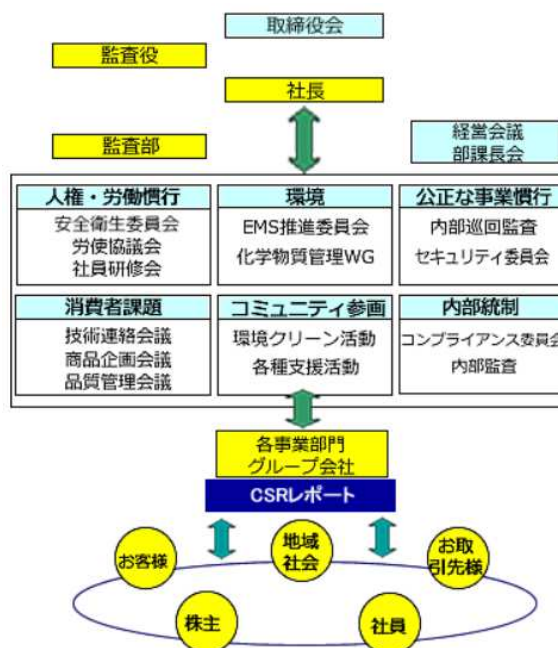
## CSR推進体制

CSR活動を経営の根幹と位置づけ社長指示のもと社員全員でCSRへの意識を高めています。

各会議及び委員会は、定期的に行われ内容について社内はもとより各事業所・関連会社にも共通課題として連絡徹底されます。

お客様・お取引先様・株主・社員・地域社会など全てのステークホルダーとの対話を重視した、CSR経営を推進しています。

企業は社会の公器であるという精神の下、法令遵守しています。またステークホルダーからの要望についてはフィードバックを適切に行います。



パフォーマンスデータ

				(年度:4月～翌3月)			対応する GRIスタンダード	
項目	細項目	バウンダリー	単位	2018年	2019年	2020年		
企業の規模								
事業所数		ルビコングループ国内	箇所	15	14	14	102-7	
		ルビコングループ海外	箇所	12	13	13		
	合計	ルビコングループ	箇所	27	27	27		
従業員数	男性	ルビコングループ国内	人	1,343	1,299	1,275	102-7	
		女性	人	417	391	370		
		国内計	人	1,760	1,690	1,645		
	女性	ルビコングループ海外	人	306	291	295		
		海外計	人	681	686	774		
合計	ルビコングループ	人	987	977	1,069			
純売上高		ルビコングループ	億円	2,747	2,667	2,714	102-7	
労働慣行								
正規雇用従業員数	男性	単体	人	495	478	477	102-8	
				女性	165	156		151
				合計	660	634		628
臨時雇用従業員数	男性	単体	人	0	0	0	102-8	
				女性	0	0		0
				合計	0	0		0
全従業員中、臨時雇用者の占める割合			単体	%	0	0	0	102-8
従業員の年齢層	30歳未満	男性	単体	人	66	63	55	405-1
					女性	34	29	
		計	人	100	92	79		
	30～50歳	男性	単体	人	277	262	250	
					女性	96	90	
		計	人	373	352	341		
	50歳超	男性	単体	人	152	153	172	
					女性	35	37	
		計	人	187	190	208		
	合計		単体	人	660	634	628	
新規雇用従業員数	30歳未満	男性	単体	人	9	10	5	401-1
					女性	1	0	
		計	人	10	10	5		
	30～50歳	男性	単体	人	1	2	1	
					女性	2	2	
		計	人	3	4	1		
	50歳超	男性	単体	人	1	1	2	
					女性	2	0	
		計	人	3	1	2		
	合計		単体	人	16	15	8	
総従業員に占める割合			単体	%	2.4%	2.4%	1.3%	
離職者数(定年退職・転籍除く)			単体	人	20	26	14	401-1
離職率(定年退職・転籍除く)			単体	%	3.0%	3.9%	2.2%	
女性平均基本給の男性平均基本給に対する割合			単体	%	64%	68%	68%	405-2
女性平均報酬総額の男性平均報酬総額に対する割合			単体	%	55%	54%	51%	
再雇用率			単体	%	78%	90%	86%	
障がい者雇用率			単体	%	2.0%	2.2%	2.2%	
一人あたり年間労働時間			単体	時間	2,047.9	2,048.5	2,059.8	
一人あたり年休取得日数			単体	日	8.6	9.07	8.36	
一人あたり平均月間残業時間			単体	時間	7.3	7.35	8.29	
育児休業取得者数 ※2019年から、期間内に育児 休業を開始した人数とする	男性	単体	人	1	1	0	401-3	
				女性	14	3		3
				計	15	4		3
育児休業復職率			単体	%	100%	100%	100%	401-3
介護休暇取得者数	男性	単体	人	0	0	0		
				女性	0	0		0
				計	0	0		0
育児・介護短時間勤務利用者数	男性	単体	人	0	0	0		
				女性	29	27		28
				計	29	27		28
労働組合	加入数	単体	人	385	369	353		
				加入率	%	58%		58%
全従業員中、団体交渉協定の対象となる従業員の割合			単体	%	58%	58%	56%	102-41
従業員休業災害発生件数			ルビコングループ	件	3	0	1	
従業員休業災害度数率			単体		0.00	0.00	0.79	
			ルビコングループ		0.86	0.00	1.47	

項目	細項目	バウンダリー	単位	2018年	2019年	2020年			
コミュニティへの参画									
教育関連	インターン受入れ	単体	回	5	6	0			
			名	7	10	0			
事業場周辺の環境整備	美化活動	単体	回	3	3	1			
			延べ時間	55	75	120			
芸術・文化・スポーツ振興	協力支出	単体	千円	213	374	400			
地域との交流	工場見学受入れ	単体	名	31	27	0			
			時間	0	0	0			
地域発展・福祉	施設貸出し時間 イベント開催・参加	単体	人	40	40	0			
			時計博物館来訪者数	1,565	1,080	52			
			地域経済との調和支出	千円	234	220	200		
	地元団体との調和支出	単体	千円	412	414	400			
環境関連									
総エネルギー消費量	非再生可能 エネルギー源	単体 ルビコングループ国内	TJ	109	106	104	302-1		
			TJ	2,105	1,479	1,657			
			再生可能 エネルギー源	単体 ルビコングループ国内	GJ	0		0	0
総電力消費量	総計	単体 ルビコングループ国内	GWhr	11.0	10.7	10.3	302-1		
			GWhr	200.2	142.5	165.5			
温室効果ガス排出量	スコープ1 ※1	単体 ルビコングループ国内	kt-CO2	0	0	0	305-1		
			kt-CO2	0	0	0			
			スコープ2 ※1	単体 ルビコングループ国内	kt-CO2	5.35	5.02	4.56	305-2
					kt-CO2	19.54	18.56	20.79	
水使用量		単体 ルビコングループ国内	千m <sup>3</sup>	4.7	2.5	2.8	303-1		
			千m <sup>3</sup>	38.4	29.0	32.0			
排水量		単体 ルビコングループ国内	kt	4.7	2.5	2.8	306-1		
			kt	40	31.1	32.0			
産業廃棄物排出量		単体 ルビコングループ国内	t	177	168	202	306-2		
			t	1,314	961	1,285			
産業廃棄物埋立処分量		単体 ルビコングループ国内	t	0	0	0	306-2		
			t	0	0	0			
			t	0	0	0			
日化協PRTR対象物質の排出量	大気排出	単体 ルビコングループ国内	t	0	0	0	305-7		
			t	0	0	0			
			水域排出	単体 ルビコングループ国内	t	0	0	0	306-1
					t	0	0	0	
有害大気汚染物質排出量	合計	単体 ルビコングループ国内	t	0	0	0	305-7		
			t	0	0	0			
大気環境負荷物質排出量	SOx	単体	t	0	0	0	305-7		
			単体	t	0	0		0	
			単体	t	0	0		0	
水質環境負荷物質排出量	ばいじん	単体	t	0	0	0			
			単体	t	0	0		0	
			単体	t	0	0		0	
			単体	t	0	0		0	
環境会計	設備投資額合計	ルビコングループ	百万円	0	1	3			
			費用合計	ルビコングループ	百万円	0.0		0.0	3.0
			金銭的効果合計	ルビコングループ	百万円	0		0	1
コンプライアンス									
企業倫理相談件数		ルビコングループ	件	6	2	0			

※1 スコープ1: 直接CO2排出エネルギー(揮発油、灯油、LPG等)  
スコープ2: 間接CO2排出エネルギー(購入電力)

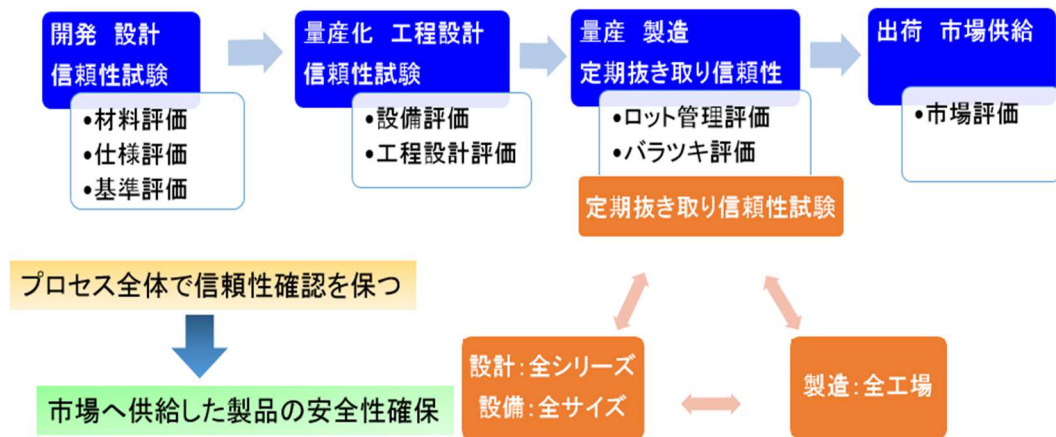
### 製品安全性の確保

製品の安全性を確保するため、当社では製品開発の企画段階から法令遵守、環境禁止物質不使用等、細かな確認を行っています。また、カタログや納入仕様書へ、安全にご使用頂くための注意事項を記述し、安全確保に努めています。

当社では、ものづくりにおいて、製品の安全性を確保するため、信頼性試験を各プロセスで実施しています。

製品開発の企画段階での信頼性試験の実施、工程設計時は材料間違いが無い事や仕様、及び、製造条件に誤りが無い事を確認する信頼性試験を行い、量産工程では定期抜き取りによる全工場全シリーズの信頼性確認の為の信頼性試験を実施しています。また、各信頼性試験内容においては安全性確認項目を加えてプロセス全体での信頼性確認を行うことでルビコン製品の安全性や信頼性を維持しています。

これからも信頼性のある製品の製造及び供給による安全性確保に努めてまいります。



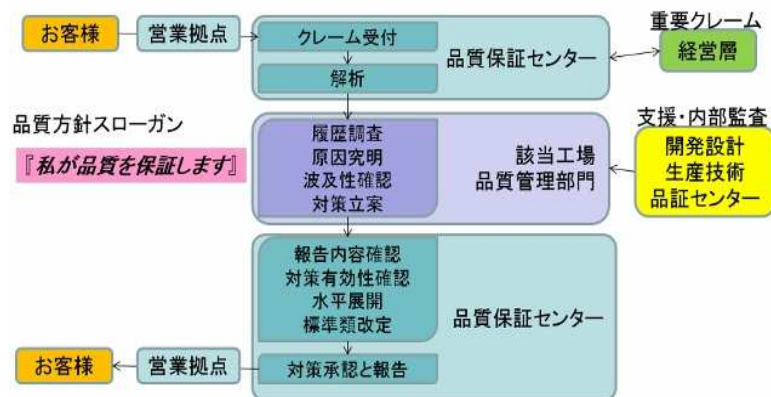
### 製品事故・不具合発生時の対応

お客様からの事故や不具合のクレーム、また、解析依頼は、ルビコン営業拠点を通じて一元的に品質保証センターが受け付け、管理を行います。

製品現品の一次解析は品質保証センターが専用機器を用いて解析を行い、該当製品製造工場へ受付情報を即日連絡し、履歴調査と原因究明を開始します。

該当工場の品質管理部門が波及性調査と対策立案を行い、品質保証センターへ報告し、品質保証センターからお客様へ対策報告を行います。対策の有効性確認と水平展開を品質保証センターが内部品質監査にて実施し、対策の効果をチェックします。

『私が品質を保証します』をスローガンに、全社員がお客様にご満足頂ける製品づくりを目指し、品質改善を進めています。

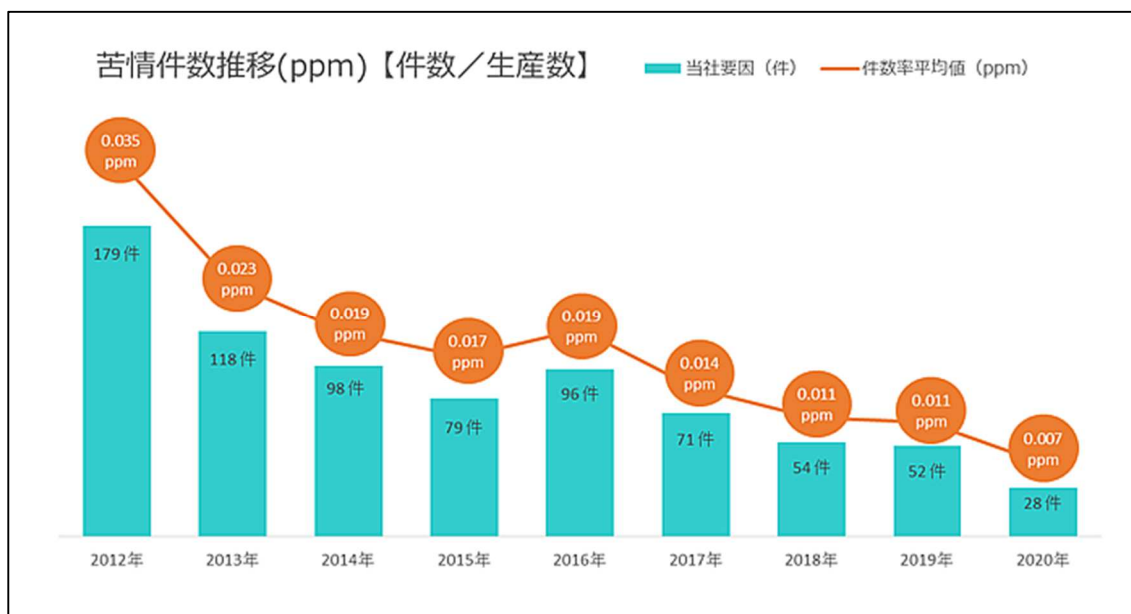




## COC : Claim 0 Campaign (社外苦情ゼロキャンペーン)

当社では、お客様満足度の向上と、製品安全に繋がる品質向上を達成する為、お客様からの苦情は全て真摯に受け止め、直接製品づくりを行う工場の責任として、苦情発生「ゼロ」件を目標に品質向上活動を行っています。

活動名「COC」とし、Claim 0 Campaign (社外苦情ゼロキャンペーン) の活動を2012年5月から開始しました。9年目の活動成果では、苦情件数率(件数/生産数)を80%低減する成果を上げました。常に、「ゼロ」にこだわりCOC活動を継続推進します。



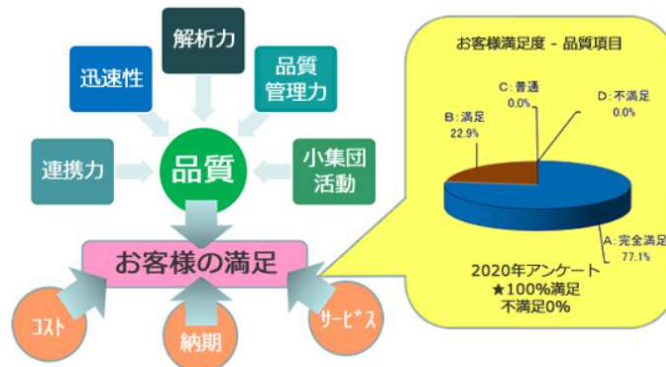
## ISO/IATF 監査・内部監査

当社はISO9001、IATF16949、ISO14001、ISO45001を取得し、社内規程・標準に基づく生産活動を行っていますが、これらがしっかりと規格要求に沿って実施されているか、第三者機関による監査を受けるとともに、各部門から選出した監査員チームによる内部監査を実施することにより、部門間の交流と相互のレベルアップを図っています。

## お客様満足度の向上

当社ではお客様満足度を向上する為、連携力、迅速性、解析力、品質管理力、小集団活動の5つの柱を基に「お客様の満足が得られる製品づくり」を通じ、社会に奉仕し未来に貢献するという品質方針を掲げ活動しています。

品質を第一に、コスト、納期、サービスを含め、お客様満足度調査の実施により、お客様から毎年評価を受け、満足度評価の向上に努めています。



## グリーン調達

当社では、製品に使用される材料、部材、部品については、地球環境への負荷軽減を図り、当社からお願いする「環境負荷物質一覧表」での環境への負荷低減や、各国の法令・社会規範を遵守していただける、環境負荷低減に積極的に取り組まれているサプライヤーさまからの購入を実施しており、今後とも推進してまいります。

## 使用禁止物質及び危険・有害物質の管理

使用禁止物質及び危険・有害物質に対して、当社の『環境負荷物質一覧表』を明確に規定し、お客様からの RoHS 規制・REACH 規制を含む化学物質のグリーン調達基準の要求を、常に一覧表へ更新展開し、当社の材料への不使用確認を当社の要求事項として反映させています。

材料受入れにおいて、RoHS 規制物質に対する定期抜き取り XRF 分析と高精度分析値データの確認のチェック体制を確立しています。

当社への納入材料には、サプライヤーさまのご協力により全材料を識別するバーコード表記が完了し、徹底した材料のトレーサビリティ管理を実現し、使用禁止・全廃物質を使わない、入れない、混入させない、汚染させないものづくりを実現し、24 時間以内に材料情報を追跡するデータベースの構築により環境異常品を出さない体制を構築しました。

『私が地球を守ります』を合言葉に、環境へ配慮し、快適な環境を維持することへの努力を日々進めています。

## コンプライアンス研修

競争法遵守、下請法厳守、コンプライアンス遵守のためルビコン、ルビコングループ会社の役員、管理職、営業職を対象に社内研修を行っています。また、研修や委員会の内容を基に、各職場でも勉強会を実施しています。

- ・ 2020 年 6 月 4 日 コンプライアンス研修会  
内容：コンプライアンスについて、  
下請法について  
講師：社内 3 名 出席者：課長職 23 名
- ・ 2020 年 11 月 9 日 コンプライアンス委員会
- ・ 委員会の内容を元に各部門で勉強会を実施  
課長職以上の役職者は「コンプライアンスチェック」を提出  
全社員がコンプライアンス宣言書を提出

## 環境に対する取組み

### 脱炭素・環境負荷削減対応

#### 省エネ対策

当社は 2010 年に「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき特定事業者指定され、年率 1%以上の省エネを目標に、照明節電対策、エアコン節電対策、生産設備対策等に取り組んでいます。

最近の実績は以下の通りです。(原単位あたり換算)

年度	排出量
2015年	4.8% 削減
2016年	5.4% 削減
2017年	2.4% 削減
2018年	0.1% 削減
2019年	2.7% 増加
2020年	8.0% 削減



循環式屋根散水装置の運転状況

#### 温室効果ガス削減に向けて

年率 1%以上の CO2 排出削減を目標に取り組んでいます。最近の実績は以下の通りです。

年度	排出量	前年比
2015年	5,981t -CO2	1.5% 削減
2016年	5,770t -CO2	3.5% 削減
2017年	6,267t -CO2	8.6% 増加
2018年	5,351t -CO2	14.6% 削減
2019年	5,017t -CO2	6.2% 削減
2020年	4,641t -CO2	7.5% 削減

当社では、近隣の社屋やグループ会社を往来する社内便車両として、EV車（電気自動車）を使用し、脱炭素に向けて環境に配慮しています。

また、製品の開発においても小型化、軽量化、高性能化などのご要求に応えるべく商品開発に取り組み、製品の小型化を実現しました。今後もルビコンの技術力、開発力にて製品の小型化を推進し、脱炭素に向けた取組みや省エネに貢献していきます。

#### リサイクル化の推進

廃ビニール： 100%のリサイクルを維持しています。

紙類： 紙のリサイクルを図り、可燃物として処理される紙の削減に取り組んでいます。  
2020年のリサイクル率は71%です。

その他： 廃棄物の適正分別を徹底することで、リサイクルに取り組んでいます。  
ゼロエミッションを目指していきます。

### P R T R（化学物質排出移動量届出制度）

P R T R法に基づき、毎年実績報告をしています。最近の実績は以下の通りです。

（実績集計が6月になる為、1年遅れでの移動量実績になります）

年度	移動量
2014年	180 kg
2015年	130 kg
2016年	139 kg
2017年	240 kg
2018年	260 kg
2019年	520 kg

### 産業廃棄物の削減

産業廃棄物の削減に取り組んでいます。最近の実績は以下の通りです。

年度	排出量
2015年	344 t
2016年	368 t
2017年	272 t
2018年	177 t
2019年	168 t
2020年	202 t



### 人権の尊重

当社は、就業規則に均等待遇として、「従業員はその国籍、信条、性別または社会的身分の如何によって差別的取扱いを受けることはない」と明記しています。

更に、各種法令で定められている「強制労働の禁止」、「非人道的な扱いの禁止」、「児童労働の禁止」、「危険有害業務の就労制限」、「妊産婦等に係る危険有害業務の就業制限」等を遵守しています。

また、「労働時間管理」にも力を入れ、法令を遵守するとともに、長時間労働を削減すべく取組みを進めています。

また、2011年10月には国連が提唱する「国連グローバルコンパクト」に正式参加し、10原則を遵守すべく、海外販社及びグループ会社を含む社内各部門に自社製ポスターの掲示を義務付けました。「従業員が互いに尊重し合い、協力して作業を行う」ことの重要性は、以下に報告する各種人材育成研修の中でも指導・徹底しています。

### 人材育成

#### 社員教育

##### << 階層別研修 >>

##### ・新入社員集合研修（毎年4月）

新入社員は入社後、集合研修を行い、ルビコン社員としての基礎を身に付けます。また、グループで討議する時間を長く設け、新入社員同士、活発にコミュニケーションが図れるようにしています。

新入社員はその後、全員が半年間の製造現場実習を行い、モノ造りの基本を身に付けた上で、所属部署に配属となります。



##### ・新入社員フォロー研修（入社半年～1年後）

新入社員は配属後、一定期間を経過した後にフォロー研修を実施しています。入社からの振り返りとともに、入社時に掲げた目標がどの程度達成できたかを確認し、次に向けての新たな目標設定を行います。

##### ・若手社員研修（入社4年、5年）

若手から中堅社員に成長していく過程において、自身の担当業務にとどまらず、より積極的に仕事の幅を広げてもらおうとモチベーションとなるよう実施しています。

##### ・社員1級昇格者研修（中堅社員 入社7年～10年程度）

当社では職能資格制度を導入しており、社員1級は中堅社員の位置づけです。中堅社員としての自覚向上とより広い視点で業務を遂行してもらう目的から本研修を実施しています。

- ・初任監督者研修（初任の係長・リーダー）

初任の監督者には、職場のリーダーとしてメンバーを引っ張っていくために必要な知識や能力、監督者に期待される役割の理解、当社の人事制度並びに人事考課実施のポイントを教育しています。

- ・初任管理職研修（初任の課長）

初任の管理者には、管理者の責任と役割、労務管理、会社計数の見方、目標設定、部下とのコミュニケーションを中心としたカリキュラムで教育を行っています。

## << 資格取得支援 >>

### 資格取得報奨金制度

社員の能力向上とモチベーションアップを図るため国家資格等の合格者、及び技術開発に関する優れた技術を生み出した社員には報奨金を支給しています。

技能士検定、電気主任技術者、衛生管理者といった国家資格のみでなく、TOEIC のスコアや日商簿記検定などの民間資格も対象とし、大勢の社員が資格取得に挑戦しています。また、職務発明における特許、実用新案、意匠の出願、登録も報奨の対象としています。

TOEIC については、毎年 1 回、社内での検定も実施しています。

## << 自己啓発 >>

自己啓発ツールとして社員に積極的に活用してもらうよう、毎年通信教育講座のパンフレットを更新し、全社員に配布しています。

特に資格取得に向けた対策講座を充実させると共に、グローバル人材育成の観点より、語学系の講座の充実を図っています。

また必要に応じてオンラインでの英会話教室への参加を支援するなど、社員のスキルアップをサポートしています。

## << その他専門教育 >>

- ・メンタルヘルスケア研修

社員が心身ともに健康であることが活力ある職場作りの第一歩であると考えています。そのため、複数年に一度、長野産業保健推進センター様等より講師を派遣していただき、メンタルヘルスケアの研修会を実施しています。

- ・外部研修の活用

社内での研修ばかりでなく、異業種の方と交流できる外部研修も積極的に活用しています。同じ様な立場の人と一緒に時間を過ごす事で刺激を受け能力開発への動機付けとなっています。管理職へ登用された社員は必ず外部研修を受講する事を義務付けています。

### 子育て・介護支援

#### 育児・介護休業規程の制定

当社では育児・介護休業法に沿って「育児・介護休業規程」を制定しています。特に育児休暇は多くの社員が活用し、職場復帰しています。育児支援のため、お子様を養育する社員が希望すれば、小学校2年生の3月31日までは最大2時間の短時間勤務を可能としています。

また、お子様の看護休暇、介護休暇については時間単位での取得に加え、就業時間中での中断取得についても認めています。

#### ヘルスケア休暇の制定

ヘルスケア休暇は、年次有給休暇の未消化切捨分の内、年間最大10日を積み立てられる当社独自の制度で、2年間保有することが出来ます。思いがけず長期療養を要する事故・怪我・病気に遭ってしまった場合には強い味方になっています。

新型コロナウイルスの影響で、お子様の保育園や学校が臨時休校となった場合にも使用できるようにしています。

#### 時間単位有給休暇

当社では年次有給休暇の内、最大1年間に3日分は1時間単位で取得可能な「時間単位有給休暇制度」を導入しています。自身や家族の通院をはじめ、ちょっとした用事で少し遅れて出社する、あるいは少し早く早退するといった時に便利に活用してもらっています。

#### くるみん取得

当社は次世代育成支援にも積極的に取り組み、2008年8月29日に、長野労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく2008年認定事業主として、認定マーク（くるみん）を取得しました。

更に2011年から2015年までの取組成果により、2015年には2回目の認定を取得し、現在も認定されています。



#### 育児休業者支援

育児休業取得中の女性社員にも社内報の送付等を通じて常に会社の情報は提供し、復職が近づくと復職後の勤務形態の希望を確認する等、復職にあたっての不安などを解消できる様にサポートしています。

また、経験豊富な産業看護師が休業中も育児の悩み等も相談できるようにしています。

## 労働安全衛生

当社は、“健康で快適な職場づくり”に向け、様々な活動を行っています。そうした取組の一環として、労働安全衛生のマネジメントシステムである“ISO45001”の認証を取得しています。

改善活動の中で、当社社員の労働安全衛生に対する意識の向上に努めています。

- ・ 安全衛生委員会（年 12 回）
- ・ 安全衛生パトロール（年 2 回）
- ・ 安全衛生パトロール【工場】（年 6 回）
- ・ 衛生管理者による社内環境巡回（週 1 回）
- ・ KYT（危険予知訓練）活動（年 1 回）
- ・ ヒヤリハット提案活動（年 1 回）
- ・ 安全衛生内部監査（年 1 回）
- ・ 工場作業環境調査（年 2 回）
- ・ 事務所作業環境調査（年 2 回）
- ・ ストレスチェック（年 1 回）
- ・ VDT 作業状況調査（年 1 回）
- ・ リスクアセスメント及び改善活動
- ・ ヤングドライバーズクラブ活動
- ・ 防災訓練
- ・ 安全衛生教育

### メンタルヘルスケアの取組み

専門教育の項でも取上げたとおり、メンタルヘルスケア研修（外部講師招聘）を実施しています。また、メンタル不調者に対しては、人事課、産業看護師、産業医が連携して対応し、該当者のメンタル不調の状況に応じた措置を講じています。

### 健康相談

長時間労働者や健康診断による有所見者の中から産業看護師が月に 3 名～4 名程度をピックアップし、月 1 回の産業医来社時に健康相談を実施しています。

### ストレスチェック

2021 年 2 月に全社員を対象にストレスチェックを実施しました。

450 名が実施し、高ストレスで面談希望者へは産業医面談を実施しフォローを行いました。

会社全体の総合健康リスクは、ほぼ全国平均レベルでした。

### KYT（危険予知訓練）活動

職場内にどのような危険が潜んでいるか社員に考えてもらい、その中から重要課題を決め、どのように解決するか検討し、いつまでに行うか目標設定を行う KYT 活動を、職場ごと 1 年に 1 度実施しています。定期的に行うことで、職場内に何か危険は潜んでいないかと各自に考えさせる習慣を持たせることを期待しています。



### ヒヤリハット提案活動

ヒヤリハットとは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の事で、文字通り「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハッとしたりするもの」です。

労働災害における経験則の一つであるハインリッヒの法則は、1つの重大事故の背後には29の軽微な事故があり、その背景には300の異常（ヒヤリハット）が存在するというもので、その考えから1年に1度、各部署からヒヤリハットを報告してもらい、対策を講じています。

### 業務効率改善

当社では、企業におけるDX推進の一環として、古いシステムを操作性に優れた新しいシステムへの刷新、システム管理工数削減に向けたクラウドの利用、場所を問わないWEB会議の活用による時間的な余裕の確保、各種承認や作業のワークフロー化等の業務改善を行っており、今後、データ入力 of 簡略化を目的としたAI-OCRの導入を予定する等、随時、業務効率改善や生産性の向上に向けた取り組みを行っています。

近い将来、国内の労働力不足が予想される中、これらの改善が、社員の業務的負荷や時間的負荷の軽減となり、心身のゆとりや労働工数削減等につながる事を目指しています。

## 労働組合との関わり

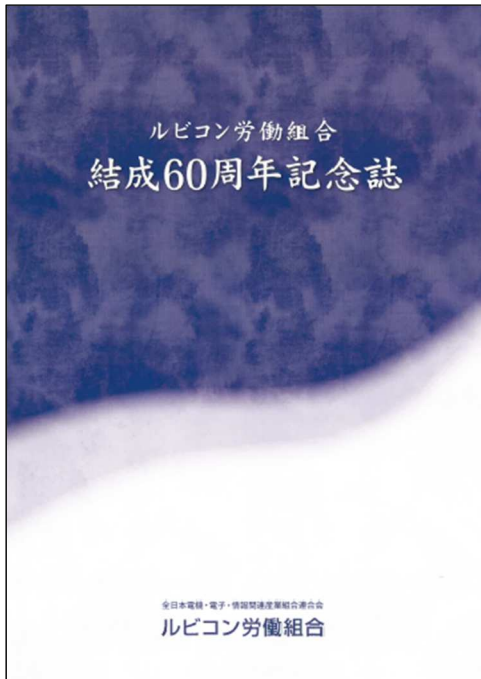
### 労使協議会

会社と労働組合とは立場は異なるものの、「企業の発展と社員の幸せ」という共通の目的に立ち、必要に応じて労使の協議を行っています。

毎年春に行う“春季労使交渉”だけではなく、労使双方どちらからでも、その都度話し合いが必要だと思われる内容があった場合には意見交換を行い、お互いの考え方を主張し合いながらも接点を見出すべく議論しています。



### 労働組合結成 60 周年



当社労働組合は結成 60 周年を迎えました。  
これにあわせて 60 周年記念誌を作成し、記念品と  
合わせて管理職を含む全社員に配布しました。

### 地域社会への貢献

当社は、事業活動を展開する地域社会の活性化や課題の解決に積極的に参加し、地域社会や人々の発展に貢献出来るよう努めてまいります。

また、各国や地域、民族（先住民族や少数民族を含む）等の固有の文化や歴史を尊重し、当該地域の法令だけでなく国際基準を守り、影響を受ける地域社会に配慮して責任ある事業運営を行います。

### 社会貢献活動

#### 職場体験の受入れ

地域貢献や青少年育成等の見地より、中学生、高校生、大学生、社会人、障がい者の職場体験の受入れ要請に対しては、出来る限り対応するよう努めていますが、2020年度は新型コロナウイルスの影響で職場体験の受入れは実施していません。

新型コロナウイルスの感染が終息し次第、近隣の中学生を中心に積極的に職場体験の受入れを再開していく考えです。

《 2019年（前年度）職場体験、工場見学受入実績》

年月	受入	人数	日数
2019年2月	大学生インターンシップ(就業体験)	18名	3日
2019年3月	従業員の子ども(工場見学) * 小学校入学者	2名	1日
2019年5月	春富中学校(職場体験)	1名	2日
2019年5月	南箕輪中学校(職場体験)	2名	2日
2019年5月	西箕輪中学校(職場体験)	2名	3日
2019年8月	駒ヶ根工業高校(職場体験)	2名	2日
2019年9月	東部中学校(職場体験)	2名	2日
2019年9月	大学生インターンシップ(就業体験)	3名	1日
2019年10月	伊那中学校(職場体験)	1名	2日

#### 消防団活動・赤十字奉仕団活動の奨励

当社では社員の居住する地域の活動への協力・参加を奨励しています。

特に消防団活動や地域赤十字奉仕団活動は、地域の自主防災、高齢者支援等の地域福祉向上に寄与する大切な活動です。そこで、これらの活動参加により社員が仕事を休まざるを得ない場合には、これを特別有給休暇として取り扱う配慮を行っています。

## 地域への貢献

### 登内記念公園



構内にある公園には、秋田県由利本荘市から運ばれた黄桜を中心に、赤牡丹桜、しだれ桜が100本以上植えられています。地域の皆さんにも公開しており、憩いの場となっています。

### 球場の貸出し

当社ではナイター照明設備を完備したルビコン球場を保有しています。当社野球部が遠征等で球場を使用しない間、地域の皆様に球場を開放しています。地元の少年野球チームの練習会場など、様々な団体の方にご利用いただいています。



2020年度の主な実施項目と2021年度の目標・計画

大項目	小項目	2020年度の目標・計画	2020年度の主な実施項目	2021年度の目標・計画	
組織統治	CSRマネジメント	EICC行動規範準拠の方針、および国連グローバル・コンパクト10原則を支持し、事業活動への展開	2020年7月14日、国連グローバル・コンパクト本部へCOPを提出	継続したCOPの提出	
	ステークホルダーとの対話		弊社ホームページを通じて、EICC行動規範準拠の方針、および国連グローバル・コンパクト10原則を支持することを表明。	グループにて重点テーマを推進	
	コーポレートガバナンス	透明性の高い経営の推進		2020年CSRレポートを作成し、行動規範についてもホームページに掲載	CSRレポートの作成およびホームページでの開示 コンプライアンス研修を継続 内部監査を継続 内部通報制度の継続
		コンプライアンス		新入社員研修にてコンプライアンス研修の実施。管理職を対象としたコンプライアンス研修の実施。その研修内容を、全部門で教育展開。	
	内部統制の強化		28部門を対象に内部監査を実施。		
人権・労働慣行	人権の尊重・差別の禁止	人権啓発活動の推進	新入社員研修にてCSR教育として人権教育を実施	人権啓発活動の推進・継続	
	人材の育成	従業員研修の充実	中国語教室・英語教室を週1回の頻度で実施。 (今年度は新型コロナウイルスの感染予防の為、未実施)	教育プログラムの充実と実行	
			2020/4には学卒新入社員に対して、会社の基本、ビジネスマナー等を身に付けるための集合研修を実施。新型コロナウイルスの影響で集合研修も中止せざるを得ない状況でしたが、2020/11には管理職を対象としたスキルアップ研修を、また2020/3には人事考課ルールの基本を再認識する考課者訓練を実施。		
	多様な働き方の支援	高齢者の働く意欲・能力に応じた雇用継続	雇用延長制度の継続	雇用延長制度の改訂 70歳定年制の検討	
		子育て支援	育児休業延長希望者への支援対応	育児短時間勤務の拡充 男性の育児休業取得の推奨	
	従業員の安全と健康	生活習慣病対策	産業医、産業看護師による健康相談の実施	健康相談の継続実施	
		職場の安全衛生の推進	リスクアセスメントを実施し改善活動実施(安全衛生委員会により毎月実施内容の確認を行う)	職場の安全衛生活動の継続	
			全国労働衛生週間および全国安全週間において安全衛生パトロールを年2回行い、屋内外の環境クリーン活動、避難訓練、シートベルトの着用調査を実施。 ※避難訓練は実施したが、身の回りの確認に重点を置き、屋外への避難は行いませんでした。 (新型コロナウイルスの感染予防の為)		
	ISO45001の取得	審査の結果、ISO45001を取得。			
	労働組合との協調	労働組合との共同事業の推進	必要都度、労使会議を開催し、意見交換、情報共有を図りました。	労働組合との共同事業の推進継続	



2020年度の主な実施項目と2021年度の目標・計画

大項目	小項目	2020年度の目標・計画	2020年度の主な実施項目	2021年度の目標・計画	
環境	環境マネジメント	ISO14001の認証継続・遵守	グループでの維持管理の実施	グループでの維持管理の継続	
	環境に配慮した事業プロセス	使用禁止物質及び危険・有害物質の管理	化学物質管理WGにてグループへの指示徹底 サプライヤーへのグリーン調達への指示	使用禁止物質及び危険・有害物質の維持管理の継続	
		産業廃棄物削減とリサイクルの推進	廃ビニールについては100%リサイクルを維持	産業廃棄物A(紙)については71%リサイクル化実施	産業廃棄物削減とリサイクルの推進
			産業廃棄物A(紙)については71%リサイクル化実施		
		省エネ対策:原単位当たりで、年率1%以上の省エネ	2020年4月～2021年3月は、原単位当たりで前年比8.0%削減	省エネ対策:原単位当たりで、年率1%以上の省エネ	
	CO2排出削減:年率1%以上の削減	2020年4月～2021年3月は、排出量4,641t-CO2で、前年比7.5%削減	CO2排出削減:年率1%以上の削減		
	環境対応製品の提供	環境対応として小形化・高リプル商品を開発	非固体アルミ電解コンデンサ7件、電気二重層キャパシタ3件の小形化等の新製品開発を終了し上市した。(既存シリーズのアップグレードを含む)	環境対応として小形化等の商品を開発	
公正な事業慣行	リスク・マネジメント	リスク低減活動の実施	CSR項目についてリスク低減活動を実施	リスク低減活動の継続	
	公正な競争・取引	サプライチェーンにおけるCSR	「お取引先様通報窓口」のご案内を随時サプライヤーへ送付	サプライヤーのCSRアンケートを実施する	
		サプライヤーとの取引に係る法令遵守	コンプライアンス研修を2020年6月4日に実施 コンプライアンス委員会を2020年11月9日に実施	サプライヤーとの取引に係る法令遵守の継続	
		貿易関連業務の法令遵守	貿易関連の法令遵守の継続	貿易関連の法令遵守の継続	
	情報の保護・管理	情報セキュリティ管理の推進(リスクマネジメント最重要項目の位置づけ)	セキュリティ管理規定の見直しと教育・対策の実施	GDPRへの第一次対応を完了後の維持継続(欧州拠点と個人情報提供先である委託先業者、海外他拠点との契約書締結、欧州拠点の情報管理方針の作成、プライバシーポリシーの見直し、HPの掲載文面の見直し、他)実施。	情報セキュリティ管理の推進継続
			特許権や商標権の取得など適切な知的財産の形成 模倣品撲滅活動などを通じたブランド保護及びお客様の利益の保護 他者の知的財産の尊重と保護		
知的財産の保護	自他の知的財産保護 模倣品対策の推進	特許権や商標権の取得など適切な知的財産の形成 模倣品撲滅活動などを通じたブランド保護及びお客様の利益の保護 他者の知的財産の尊重と保護	自他の知的財産保護、模倣品対策の継続		
消費者の安全と保護	製品の品質向上・安全性の確保	コンデンサの安全性を考慮した設計	安全性を含む過去のトラブル集からのFMEA展開の実施。 車載品質の再構築実施。車載要求の作業手順の見直し実施。	過去のトラブル集の登録、FMEA展開の継続。車載品質の向上推進。	
		ルビコングループ品質向上の推進	社外不具合低減活動COC(クレームゼロキャンペーン)活動実施。	ルビコングループCOC活動の再発防止監査による品質向上の推進の継続	
	製品事故・不具合発生時の対応	不具合報告対応日数の低減と迅速処置の推進	目標6日以内の報告対応日数の維持。緊急報告体制(24時間一次報告要求への体制)の維持。	不具合報告対応日数の低減維持、緊急体制の確認維持。	
	お客様満足の向上	顧客満足度調査の実施	主要顧客に対しアンケート調査を行い、品質・納期・価格・サービス等の項目別評価を実施。品質項目についてのお客様満足度は100%(うち、完全満足は77.1%)。	顧客満足度調査の実施継続	
コミュニティへの参画及び発展	社会貢献活動	地域における社会貢献活動の推進	登内記念公園の一般公開の実施継続	グループ各地域における社会貢献活動の推進の継続	
		地元消防団および日赤奉仕団活動の奨励	全て特別有給休暇扱いとして配慮しています。		

◀MEMO▶



**WE SUPPORT**



RUBYCON CORPORATION  
RUBYCON GROUP COMPANIES

